

# TPP騒動と農業再生

キャノングローバル戦略研究所研究主幹  
経済産業研究所上席研究員  
農学博士 山下 一仁

# TPPに参加しないと**日本沈没**

- ▶ 1. 韓国が米やEUと結んだ経済連携協定によって、日本企業は、アメリカ市場やEU市場において韓国企業に比べて不利な競争条件
- ▶ 2. 日本のTPP交渉参加表明にカナダ、メキシコが追随。TPP地域が拡大し、参加するメリットが増加する一方で、逆に参加しなければ、**広大な地域のサプライ・チェーンから排除される。**  
⇒ 海外進出できない**中小企業**に**影響**。

# お化けとその主張

- ▶ 通商交渉や国際経済法の初歩的知識さえない人たちのTPP反対本がベストセラー化。
- ▶ TPPは法の体系～日米協議で要求されたものも、国際経済法の体系に載らないものは議論されない。－医療問題はその典型。
- ▶ アメリカが怖い↔他に多くの参加国、アメリカの主張が通らない局面が多い。ベトナムやマレーシアのような途上国でさえ、TPP交渉に自主的に参加し、アメリカと渡り合っている。

# TPP反対論の問題（医療）

アメリカはTPPで取り上げないと表明。

1. 公的医療保険（混合診療を認めるかどうか）などの政府によるサービスはWTO・サービス協定の対象外。これまでの自由貿易協定でも対象としていない。TPP交渉は日米二国間協議ではない。
2. 外国人医者や弁護士の参入を日本にアメリカが要求すれば、アメリカも認めることとなる。条約は双方を縛る。

# TPP反対論の構図

- ▶ 共同通信の世論調査では、農林漁業者のうち反対は45%のみ、賛成は17%。
- ▶ 野菜・果樹の関税は数%  
専業農家の間ではTPP賛成の声の方が多い。関税撤廃、農産物価格低下⇒直接支払いを行えば、農家は困らない。
- ▶ しかし、価格に応じて販売手数料収入が決まる農協は影響を受ける。本当は“TPPと農業問題”ではなく“TPPと農協問題”
- ▶ TPPで既得権益を侵される農協が、同じく既得権益で守られてきた医療等他の業界を巻き込もうとしているという基本構図。しかし、おぼけは消えた。

# 農業の制約要因

米の生産＝消費量は1994年1200万トン  
→2012年800万トンへ大幅減少。

高い関税で守ってきた国内の市場は、高齢化と人口減少でさらに縮小。

輸出のためには農業こそ、相手国の関税を引き下げられるTPPなどの自由貿易が必要

人口減少時代には、自由貿易こそが食料安全保障の基礎。

# 柳田國男

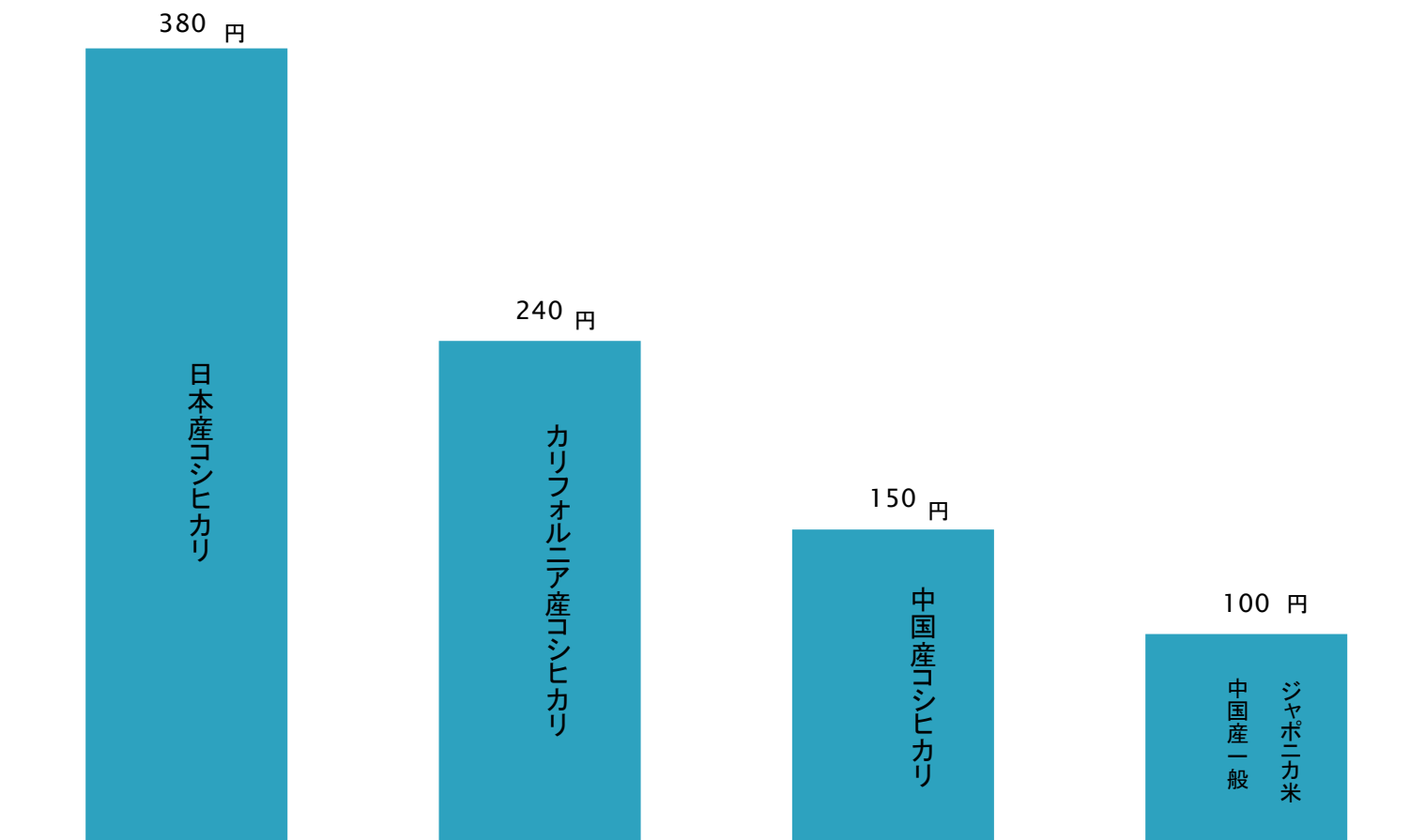
- ▶ 旧国(日本)の農業のとうてい土地広き新国(アメリカ)のそれと競争するに堪えずといふことは吾人がひさしく耳にするところなり。然れども、**之に対しては関税保護の外一の策なきかの如く考ふるは誤りなり**
- ▶ 吾人は所謂**農事の改良**を以て**最急の国是**と為せる現今の世論に対しては、極力雷同不和せんと欲するものなり。僅々三四反の田畑を占有して、半年の飯米に齷齪する**細農**の眼中には、市場もなく貿易もなし、惟其労働の価無からんことを恐るのみ、**何の暇ありてか世界の**大勢**に覚醒し、**農事の改良**に奮起することを為さん**→**中農(2ha)の必要性**

# 日本農業に競争力はない、 だから保護が必要という主張

- ▶ 規模が小さいので国際競争力がないという議論。  
農家一戸あたりの農地面積は、日本1.8ha(1)、EU16.9ha(9)、アメリカ180.2ha(100)、オーストラリア3,423ha(1902)。(カッコ内の数字は日本を1とした場合の比率)
- ▶ 確かに、規模は重要だが、①土地生産性＝作物や単収の違いを無視(世界最大の農産物輸出国アメリカもオーストラリアの20分の1、オーストラリアの小麦単収は英国の5分の1以下)③コメが競合する中国の規模は日本の3分の1④もっとも重要なのは品質の違い



# 香港でのコメ評価(1kgあたり)



# コメ農政の構図

1兆円の国民負担

減反による供給減少

6,000億円の財政負担  
2,000億円 減反補助金  
4,000億円 減反を条件とする  
戸別所得補償

高い米価の実現

4,000億円の消費者負担

米の高コスト構造の原因

高い米価で零細な兼業農家が滞留して  
専業農家の規模は拡大せず  
減反で面積当たりの収量は増加しない  
(カリフォルニアの収量よりも4割も低い)

食料安全保障への悪影響

米の消費減少(20年で1,200万トン→800万トン)

500万トンの米減産、700万トンの麦輸入  
(食料自給率の低下)

水田面積の減少

350万ヘクタール→ 250万ヘクタール

# 所得 = 売上 - コスト コストダウンの方法

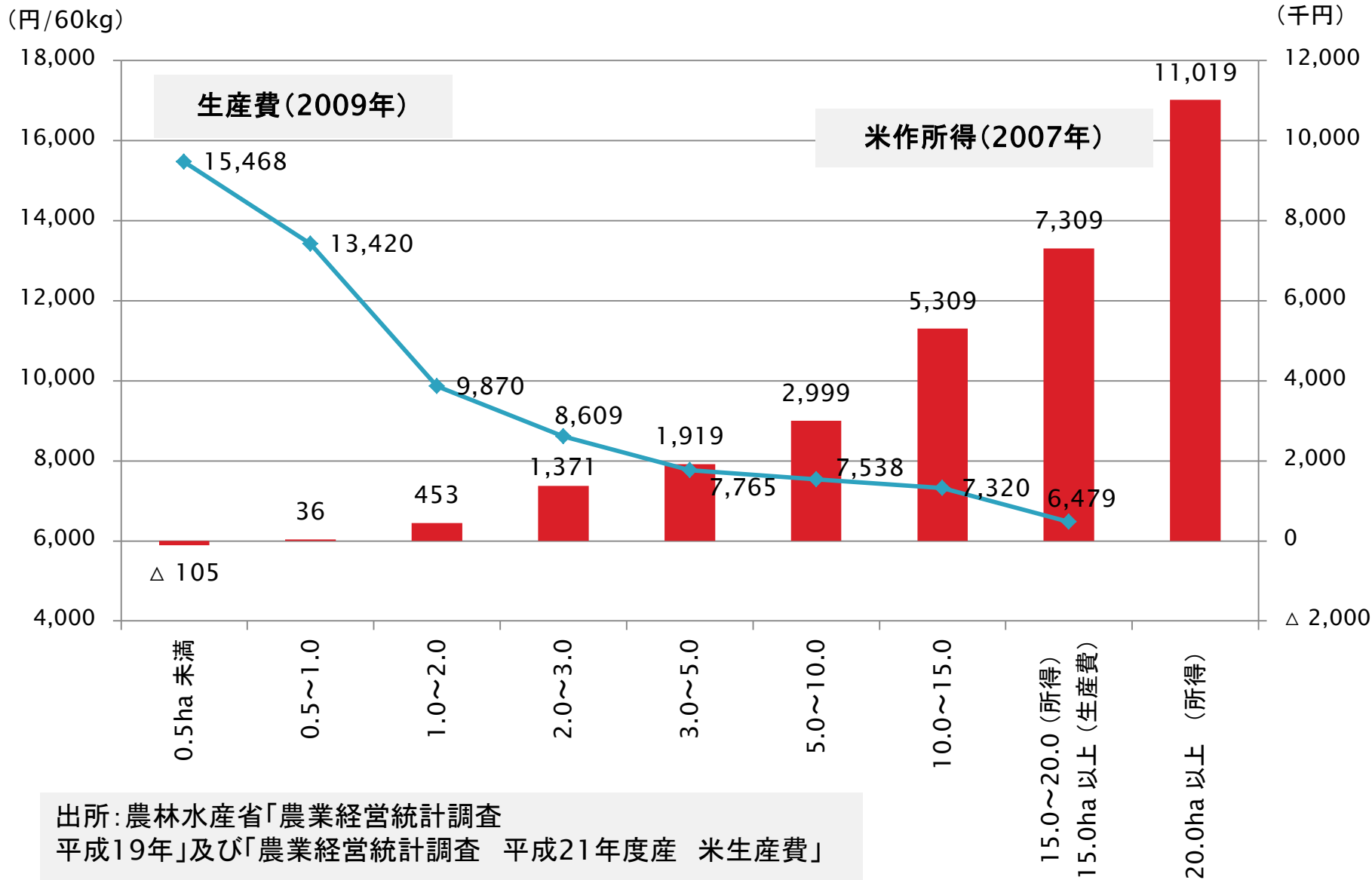
トン当たりのコスト 

コスト/ヘクタール 

=

収量/ヘクタール 

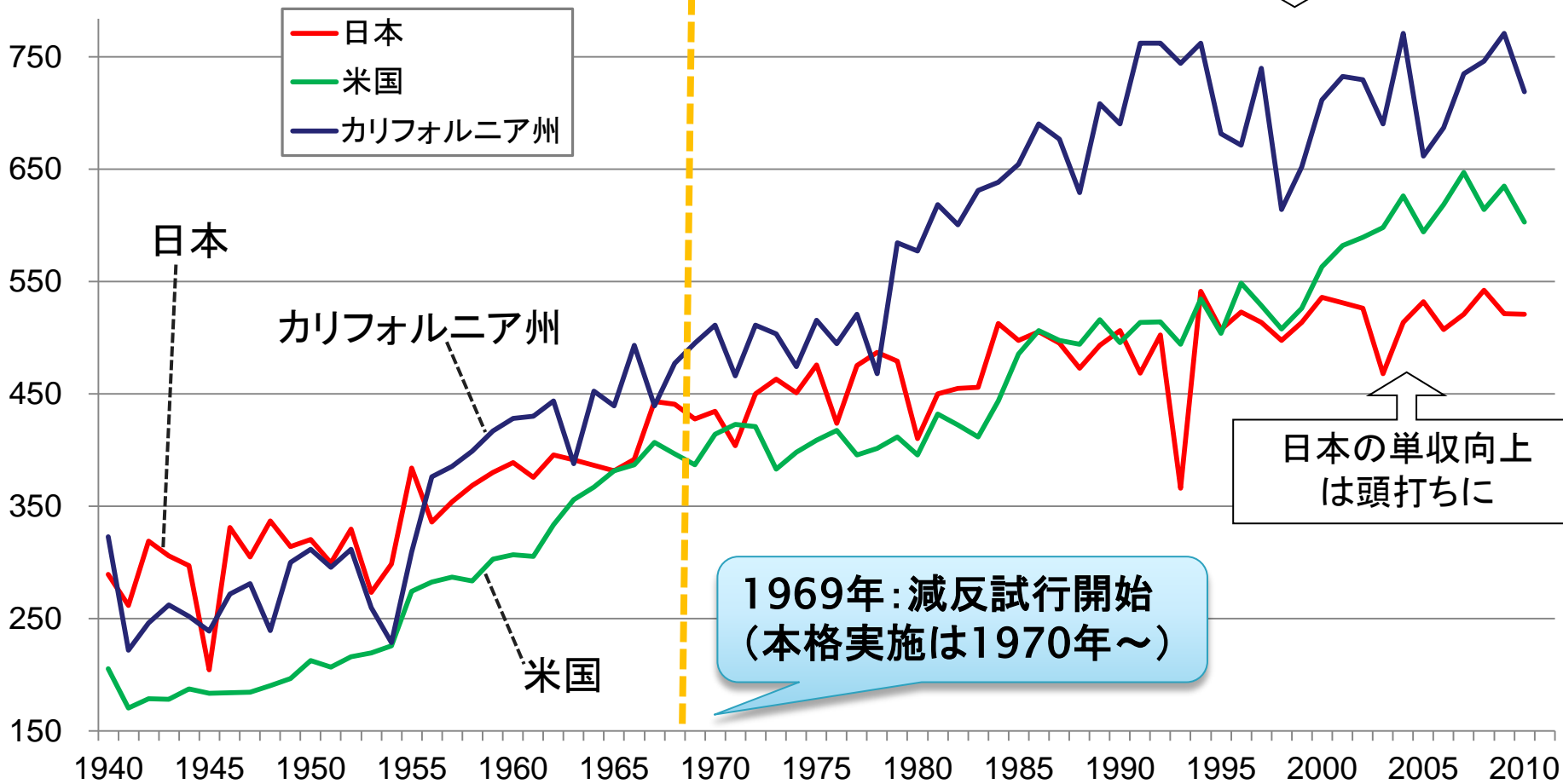
# 米の規模別の生産費と所得



# 減反が単収向上を阻害

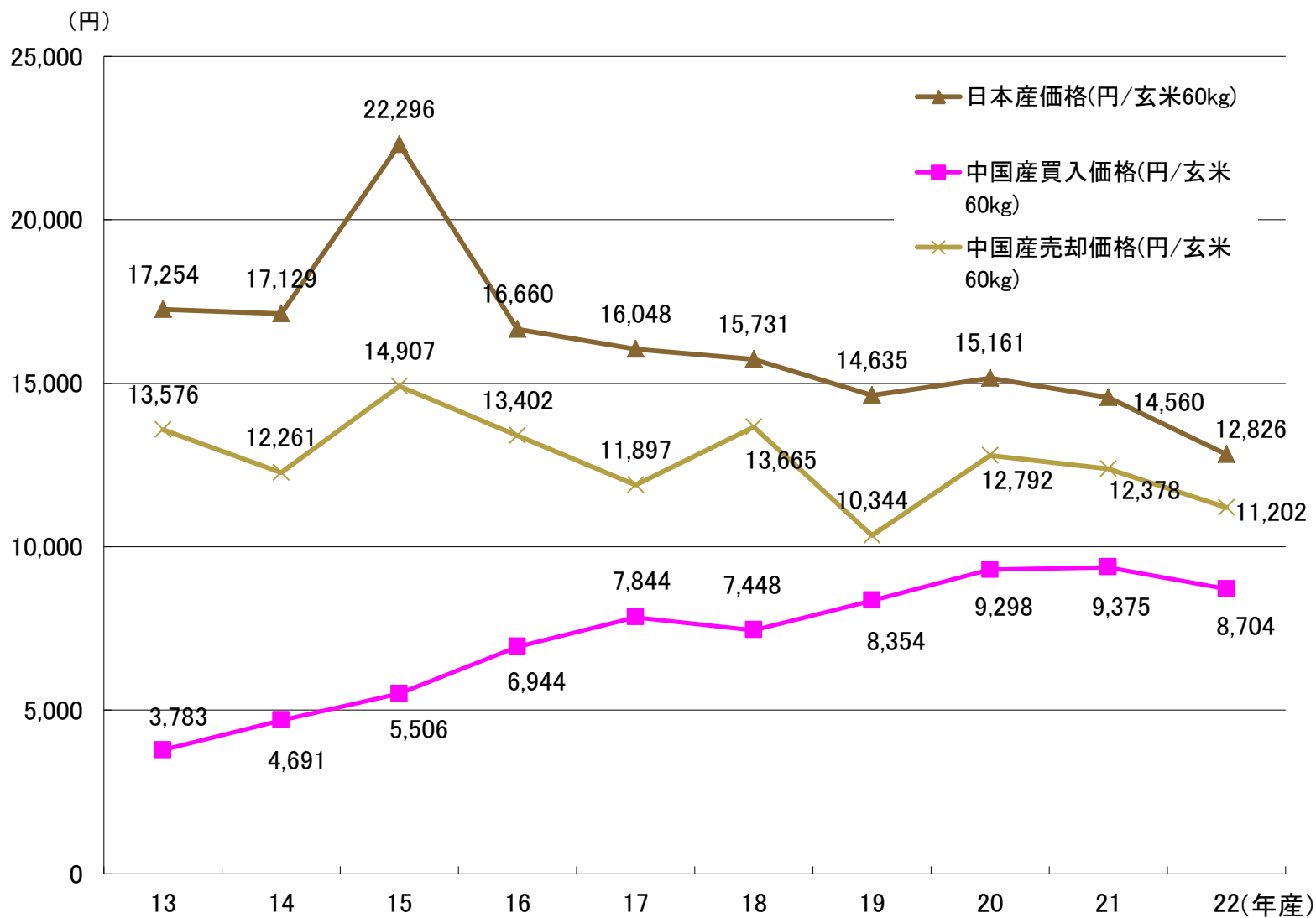
## コメの単収の推移

玄米kg/10a

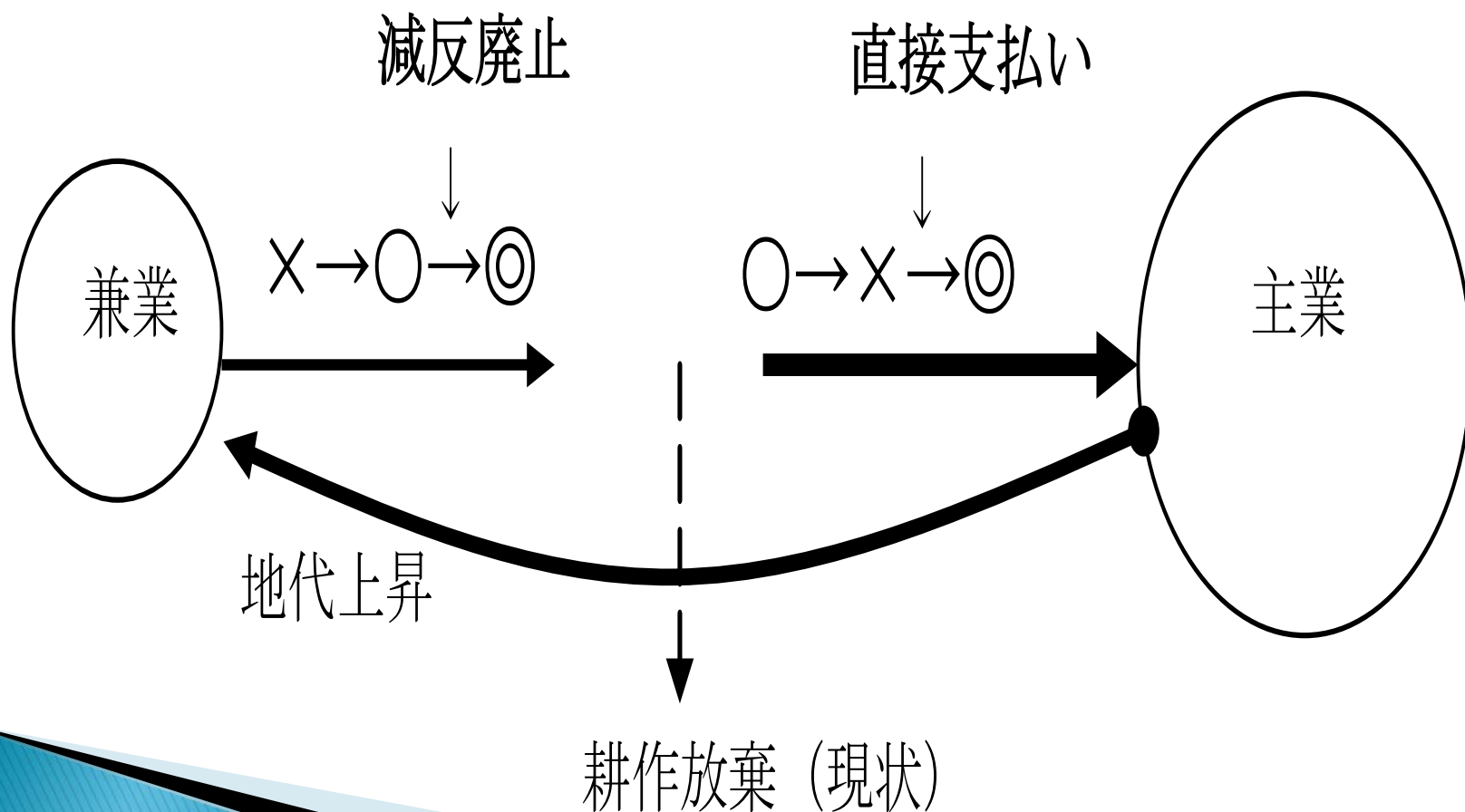


資料: 農林水産省作物統計、USDA NASSから作成

# 日中米価の接近



# 食管制度時代→現状→改革案



# 参考文献

- ▶ 「TPPおぼけ騒動と黒幕」オークラ出版2012年
- ▶ 「農業ビッグバンの経済学」日本経済新聞社2010年
- ▶ 「農協の大罪」宝島社新書2009年